



産直市場の魅力を探る

顔が分かる生産者と食卓を直接結ぶ 旬の飛騨市産野菜と出会える場

飛騨市は、面積の9割以上を森林が占めており、このうち約7割が広葉樹という豊かな自然に囲まれています。全国的にも恵まれた環境の中で暮らす私たちは、さまざまな恵みを豊かな森からいただいています。

私たちの暮らしに直結しているのは「水」。広葉樹の森にあふれるミネラルをたっぷり含んだ豊かな水が、川へ里へ長い時間をかけて送り出され、さらには田畑へ供給されることで私たちの暮らしを支えています。

市では、豊かな自然からの恵みに感謝し、生産者が活躍できる場、生産者と消費者をつなぐ舞台として産直市場の活用を推進しています。

みなさんは「産直市場」に行ったことがありますか？今回は産直市場の魅力と役割を探ります。



産直市場の役割

～地域の食と人が集う場～

「産直市場」は地場野菜の専門店。スーパーとは役割が異なり、経済波及効果以上に大切にしていることが大きく2つあります。

1つ目は、新鮮でミネラルたっぷりの貴重な食材を無駄にすることなく活用するため、規格外品も提供しています。食材を極力余すことなく、食卓へ届ける努力をしています。

2つ目は、生きがい農家の支援です。市内では専業や兼業など、さまざまな形で取り組む農家さんが活躍していますが、実は定年退職後などに「生きがい」として農業に取り組んでみえる方も多くいます。「大量に、決まった量を供給できるわけではないが、大事に育てた少

量の野菜を、広く皆さんに味わっていただきたい」と考える方々の受け皿として、販売を受託し、気軽に出品していただける仕組みという役割も担っています。

生産者の「顔」が分かることで、こだわりや安心安全が実感でき、生産者ごとにファンができるという好循環にもつながっています。また、地域に受け継がれている伝承作物も大事にしています。その土地ならではの野菜は、大量に栽培できるとは限りません。そうした少量生産の伝承作物も、栽培される方の思いを受け止め、販売の面から応援しています。

市内には、神岡朝市クラブ、三寺めぐり朝市、飛騨産直市そやな直市そやなの3つの産直市場があります。

近くの産直市場に行ってみよう

宝探しのように地元の野菜と特産品の魅力を再発見！

神岡朝市クラブ



地元の朝採れの新鮮野菜や民芸品がいっぱい！『道の駅スカイドーム神岡』の朝市広場にあります。

■住所

飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6

■電話 0578-82-5700

■営業日・時間（令和4年度）

4月下旬～6月：8～12時
7～9月：8～15時
10月～11月23日：8～13時
11月24日以降は冬季休業

三寺めぐり朝市



瀬戸川の近く。飛騨古川の新鮮野菜がたくさん並んでいます。不定期にイベントも開催しています。

■住所

飛騨市古川町壺之町10-1

■電話 0577-73-5501

■営業日・時間（令和4年度）

4月中旬～11月：8～15時
※12月は土日のみ営業

■定休日

火曜日
※祝日やお盆期間は休まず営業
冬期休業

飛騨産直市そやな



今年7月に新築オープン！
市内全域の野菜が集合し、地域内外の方に市の魅力を発信します。

■住所

飛騨市古川町上町1348-1

■電話 0577-57-8998

■営業時間

8：00～17：00

■定休日 年末年始

トマト店長
ピーン！



※営業日・時間等は施設によって変更する場合があります

「産直市場そやな」が新築オープン!

市内の新鮮野菜と特産品・市の魅力発信を強化

「トマト店長」セレクトの逸品やイベントで通年のにぎわい

30年以上にわたり、飛驒のスーパーなど販売と流通の最前線で飛驒野菜と向き合ってきた「トマト店長」こと牧ヶ野芳男さんが店長に就任。店長の全国各地との交流から生まれた人脈を生かし、実演販売などのイベントを開催予定。通年でのにぎわい創出に取り組みます。



道の駅の集客力を市のPRにも活用

道の駅という潜在集客力の高い施設に隣接している地の利を生かし、市ならではの商品のPRを強化。

特産品や薬草などを販売する他、えごま商品その場で味わえる店舗を設け、飛驒市の特長をPRし、魅力を伝えることで交流人口の拡大や産業振興に寄与します。



「広葉樹のまち飛驒市」をイメージできる店舗・クラフト作品も販売

建物には岐阜県産の木材をふんだんに活用し、特に内装と木製什器は、飛驒市産広葉樹だけを使って製作されています。

飛驒の広葉樹に囲まれた野菜畑をイメージした造り、そして森と食卓が水を通じてつながっている循環をコンセプトとした空間になっています。

また、「飛驒の匠」の技を活かした作品もあり、木の国・飛驒を強く印象づける空間にもなっています。



あなたも委託販売してみませんか?

さまざまな魅力にあふれた「産直市場」への参加は敷居も低いです。「自慢の野菜を広く味わってほしい」という熱い思いがあれば、申し込みをして、簡単な面接審査と書類提出を経れば、すぐに委託販売ができます。関心のある方はぜひ、最寄りの産直市場へご連絡ください。

また、高齢化が進む飛驒市では、産直市場まで野菜を届けるのが難しい生産者もいます。そうした要望に応じ、今年度試験的に河合・宮川地区と山之村地区へ集荷にうかがう取り組みを始めました。両地区で集荷を希望される方は以下までお問い合わせください。



集荷の様子

問 食のまちづくり推進課 ☎ 0577-62-9010